

第52回 全国消防救助技術大会



魅せろ
～ICHIBA Nへの挑戦～



52nd CHIBA 2024
NATIONAL RESCUE MEET
魅せろ～ICHIBA Nへの挑戦～

主催／一般財団法人 全国消防協会
後援／総務省消防庁・全国消防長会

魅せろ

～I CHIBA Nへの挑戦～

令和6年8月23日(金) 9時00分から16時30分まで

陸上会場 千葉県消防学校

水上会場 千葉県国際総合水泳場



一般財団法人全国消防協会では、令和6年8月23日に、千葉市消防局主管により千葉県市原市（陸上・千葉県消防学校）千葉県習志野市（水上・千葉県国際総合水泳場）において、第52回全国消防救助技術大会を開催しました。

この大会は、人命救助という崇高な理念の下、各都市において鍛え抜かれた救助技術を披露するとともに、さまざまな災害に対応する救助技術の高度化に必要な基本的要素の練磨を通じて、救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養い、全国の救助隊員が一堂に会し、競い、そして学ぶことを通じて、他の模範となる救助隊員を育成し、全国民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として開催しています。

今大会のスローガンである「NATIONAL RESCUE MEET 魅せろ～I CHIBA Nへの挑戦～」は、本大会を通して、要救助者を1番に思い救助活動にあたる隊員達の熱い戦い。「安全・確実・迅速」を極めた隊員達が全国各地から集まり、千葉県で『1番』を目指す。洗練されたその技を千葉県で魅せて欲しいという思いを表現しています。

大会当日は好天に恵まれ暑さ厳しい中、開会式を陸上の部会場である千葉県消防学校で行い、全国9地区支部から選抜された隊員が入場し、開催主管消防本部消防長である白井千葉市消防局長の開会宣言により大会の幕が開きました。

続いて、消防殉職者に対する黙とうが行われ、国旗・大会旗の掲揚の後、大会会長である吉田一般財団法人全国消防協会会長の挨拶に続き、開催主管都市である神谷千葉市長が挨拶されました。

また、来賓である池田消防庁長官、秋本公益財団法人日本消防協会会長、熊谷千葉県知事が祝辞を述べられ、大会審判長である岸本北九州市消防局長の審判長指示の後、出場隊員906名を代表して千葉市消防局の秋山隊員が力強く隊員宣誓を行い、訓練を開始しました。

訓練開始に先立ち、オープニングイベントとして、千葉ロッテマリーンズのチアパフォーマーの「M☆S☆p i a s h!!」によるパフォーマンスが披露され、会場を一体感で包み込み盛り上がりました。

陸上の部7種目、水上の部7種目、計14の訓練種目では、それぞれの地区指導会での激戦を勝ち抜いた精銳たちによる、人命救助のプロとしての誇りと燃えさかるような熱き魂を胸に、俊敏でしなやかな磨き抜かれた技術と必ず助け抜くという強い気持ちが、訓練を見守る多くの人々の心を揺さぶり、

感動を与えました。

技術訓練は、「変化する社会情勢に対応した救助活動」をテーマに、陸上会場では常滑市消防本部の隊員により、安全基本活動の再徹底を目的として、「降りる・登る・降ろす・引き揚げる」といった活動を行う際に、使用資機材数を抑え消防本部の規模を問わずに実施可能な訓練が披露されました。また、水上会場では熊本市消防局の隊員により、港の船着き場から1台の車両が海に転落した想定で、特殊な機械、器具に頼ることのない災害現場に即した救出方法が披露されました。

陸上・水上それぞれに創意工夫を凝らした救助技術が披露され、参加隊員は、趣向を凝らした訓練想定と高度な救助技術を細部にわたるまで吸収しようと、真剣なまなざしで訓練を見学していました。

一方、陸上の部会場内に設けられたイベントエリアでは、千葉県消防学校が保有する特殊消防車両の展示や起震車を活用した地震体験など、さまざまなコーナーやイベントが用意されており、大人から子どもまで大勢の方々で賑わいました。閉会式では、吉田大会会長から、各訓練種目の代表受賞者に対して表彰を行った後、「陸上の部、水上の部とともに参加隊員の皆様が、日頃鍛えた気力、体力、そして、磨き上げた救助技術を遺憾なく發揮し、素晴らしい成果を収めることができました。一般財団法人全国消防協会では、このような優れた消防救助技術が、将来にわたり永く伝承されるよう、引き続き取り組んでまいります。参加隊員の皆さんには、消防救助技術の更なる向上に努めるとともに、本日までの訓練成果を災害現場においても十分に發揮し、地域住民の負託に応えるよう期待いたします。」と訓練を講評しました。

国旗・大会旗の降納に続いて、大会旗が次期開催主管消防本部の栗岡神戸市消防局長に引き継がれた後に、白井千葉市消防局長が閉会式を宣言し、第52回全国消防救助技術大会は幕を閉じました。

残暑が続く中、多くのご来賓と市民の皆様など、延べ約1万人の方々にご来場をいただき、成功裏に大会を終えることができました。本大会の開催に際しまして、多大なるご支援、ご尽力を頂きました開催主管消防本部である千葉市消防局をはじめ、関係各位に深く感謝申し上げますとともに、将来的な隊員の育成にも引き続きのご理解ご協力をお願い申し上げます。

挨拶



一般財団法人全国消防協会

会長 吉田義実

一般財団法人 全国消防協会会長の吉田でございます。

第52回全国消防救助技術大会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本日はご多用の中、池田消防庁長官、秋本日本消防協会会長、また、開催地を代表して、熊谷千葉県知事をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、心から御礼を申し上げます。

我が国の消防救助技術は、災害現場における幾多の教訓に学びながら、隊員の皆様の不断の努力により、発展を遂げてまいりました。その技術は、災害の現場で十分に發揮され、国内外において高い評価を得ているところであります。

また、地震、台風、集中豪雨などの自然災害が発生する我が国において、災害の現場で先頭に立ち、救助活動に従事する消防職員への信頼と期待は、より一層高まっております。

本協会といたしましては、全国の消防職員が地域住民の負託に応え、国民生活の安全・安心の確保と地域社会の発展に貢献されるよう、引き続き各種事業を通じて積極的に支援してまいります。

参加隊員の皆様におかれましては、怪我等に十分留意され、これまでの訓練成果を遺憾なく發揮されることを期待しております。

結びに、本大会開催にあたり、格別のご支援・ご協力を賜りました千葉県並びに千葉市消防局をはじめ関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、ご列席、ご来場の皆様のますますのご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げ、挨拶といたします。



祝辞
千葉県知事
熊谷俊人



祝辞
公益財団法人日本消防協会会長
秋本敏文



祝辞
総務省消防庁長官
池田達雄



開催主管都市挨拶
千葉市長
神谷俊一



次期開催主管消防本部挨拶
神戸市消防局長
栗岡由樹



審判長指示
北九州市消防局長
岸本孝司



開会宣言・閉会宣言
千葉市消防局長
白井一広

陸上部

ロープブリッジ渡過（基礎訓練）



表彰者

水平に展張された渡過ロープ20メートル（往復40メートル）を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。ロープ渡過の基本的な訓練。

【標準所要時間28秒】

八雲町消防本部	室蘭市消防本部	滝谷 一暁
滝川地区広域消防事務組合消防本部	小野 秀明	
富良野広域連合消防本部	大崎 遠藤	
青森地域広域事務組合消防本部	将斗 大翔	
能代山本広域市町村圏組合消防本部	増村 卓也	
宮古地区広域行政組合消防本部	成田 瑞茉	
川上		
大翔		

表彰者

自己確保の命綱を結束した後、垂直はしごを15メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。



はしご登はん（基礎訓練）

今
北海道
南渡島消防事務組合消防本部

表彰者

自己確保の命綱を結束した後、垂直はしごを15メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

3人1組（要救助者を含む）で、1人が空気呼吸器を着装して長さ8メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、2人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。



【標準所要時間1分2秒】

埼玉西部消防局

比企広域消防本部

千葉市消防局

柏市消防局

成田市消防本部

東京消防庁

114

衣浦東部広域連合消防局

尾二消防本部



障害突破（連携訓練）

鹿児島市消防局

高松市消防局

【近畿】

局 部
吉岡 永田 引地 飛松 上村 齊藤 三谷 太田 赤城 萩阪 千葉 小岩 堀江 梅垣 井口 翔一郎 和島 秀島
吉岡 永田 流一 隆志郎 健志郎 飛松正太郎 一誠 直哉 真人 和輝 孝雄 将史 好伸 祐也 尚輝 陸庸介

5人1組（補助者を含む）で、4人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により5つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。

【標準所要時間2分37秒】

表彰者

【東北】 福島市消防本部

【関東】 さいたま市消防局

千葉市消防局

千葉市消防局

成田市消防本部

市原市消防局

九龍
島田中村朋之介
翔太
大曾
和也
克華
弘實
祐雅
陸鍊
佑紀
康慶
司基
善基
椋悟
孝華
拓耶
布留川
伊東
行川
山出
豊田
稻見
野崎
石橋
大野
後藤
秋山
渡邊
世代
中村
島田
九龍

大和市消防本部

東近畿

堺市消防局

[中國]

〔九州〕
県央地域広域市町村圏組合消防本部
山口

香取角田 佐哉
優城 佑哉
中澤健一郎
鈴木 拓也
大瀬 翔汰
古茶 悠也
鈴出 友博
細野 淳紀
鷺澤 和人
山手 和樹
高野龍之介
佐々木翔愬
柴田爽生



基本泳法（基礎訓練）

「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ25メートルずつ泳ぐ。水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。

【標準所要時間40秒】

天草広域連合消防本部

本部
原 啓四郎
倉本 佳汰

千葉市消防局 船橋市消防局 船橋市消防局

吉田 柴田 堀内 岡野 坂田 菊地 木倉谷 弘之 寺本 田代 龍弥 翔
敦賀 文哉 哲郎 空聖 凌

杵藤地区広域市町村圏 【九州】 仁淀消防組合消防本部

消防本部
有林
集

高崎市等広域消防局
川口市消防局
さいたま市消防局
埼玉西部消防局
戸田市消防本部

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部
秋田市消防本部 木村 蓮
星野 大地

豊田市消防本部
三重紀北消防組合消防
【東近畿】
白山野々市広域消防本部
南越消防組合消防本部
【近畿】

倉田 啓介
板垣 光亮
朝比奈睦寛
野坂 祐介

スノーケリングで障害物（救命浮環）を突破しながら水中に沈められたリング4個を検索して、引き揚げる。水中の行方

高崎市等広域消防局
宇都宮市消防局
つくば市消防本部
三郷市消防本部
松戸市消防局
佐倉市八街市酒々井町
山武郡市広域行政組合

古澤 勝巨
石川 夏流
松橋 栄
海老原詩大
小山 哲平
組合消防本部
本部 笠原 恽大
永井 聰

鹿児島市消防局

富永山口山口山口山口
久志都弥都弥都弥都弥
生穂久志都弥都弥都
顕太都弥都弥都
悠人都弥都弥都
大村西村西村西村
池田西村西村西村
岩下西村西村西村
田中田中田中田中
田之脇一平

偉大聰

弘樹

表彰者



東部消防組合消防本部 中真 樹
複合検索（基礎訓練）



表彰者

1



溺者搬送（連携訓練）

岡山市消防局	家ノ上賣店
松江市消防本部	新宮
香美市消防本部	晃平
有明広域行政事務組合消防本部	山西
上球磨消防組合消防本部	晴吉
佐伯市消防本部	蔵本
霧島市消防局	森山
大鶴慎一郎	岐井
大生	晃井
大生	大生

岐阜市消防本部	岐阜市	西春日井広域事務組合消防本部
湖南広域消防局	湖南	湖南広域事務組合消防本部
京田辺市消防本部	京田辺市	京田辺市消防本部
堺市消防局	堺市	堺市消防本部
守口市門真市消防組合消防本部	守口市 門真市	守口市門真市消防組合消防本部
藤岡	藤岡	藤岡
林野	林野	林野
友哉	友哉	友哉
雄二	雄二	雄二
大知	大知	大知
佑智	佑智	佑智
大輔	大輔	大輔
知章	知章	知章
畠中	畠中	畠中

相模原市消防局 佐野 兼士
【東海】
西春日井広域事務組合消防本部

2人1組（要救助者を含む）で、救助者が「じゅんか飛び込み」で入水後、要救助者（溺者）を注視しながら近づき、チンプールで確保した後、ヘアーキヤリーより救助する。



【東北】
鶴岡市消防本部

【関東】
高崎市等広域消防局

【関東】
取手市消防本部

【関東】
千葉市消防局

【関東】
上尾市消防本部

【近畿】
衣浦東部広域連合消防局

【近畿】
大阪市消防局

【中国】
東大阪市消防局

【中国】
倉敷市消防局

【四国】
高知市消防局

【四国】
高知市消防局

【九州】

水俣芦北広域行政事務組合消防本部

後藤 堅紘
山本 莉遙

人命救助（連携訓練）



3人1組（要救助者を含む）で救助者が「二重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスエスクチャリヤーで確保し、救助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつつある要救助者（訓練人形）を水面に引き揚げ、救助する。

【標準所要時間1分13秒】



【関東】
千葉市消防局

佐久本 翔
秋山 強自
大野 碧波
岩本 大史

磐田市消防本部

松江市消防本部

人命救助（連携訓練）



溺者救助（連携訓練）

【四国】
八幡浜地区施設事務組合消防本部

菊地駿一郎
水本 淳
濱田 雅之

【中国】
松江市消防本部

米田 昌樹
松本 功一
海 功一

小谷 千幸
樽井 大悟
鈴木 涼太
戸塚 皓大

磐田市消防本部

新潟市消防局

鶴岡市消防本部



【関東】
佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部

三島 裕司
石塚 雄太
中垣 聰二
佐々木 章
渡邊 和樹
小杉 悠太

【関東】
山武郡市広域行政組合消防本部

岩本 誠
西村 雄太
岩本 誠
谷口 雄太
田中 聰
永井 聰
中垣 聰二
佐々木 章
渡邊 和樹
小杉 悠太

【東北】
東京消防庁

【標準所要時間43秒】

【九州】
大阪市消防局

【九州】
大阪市消防局

【九州】
大阪市消防局

【九州】
大阪市消防局

【九州】
大阪市消防局

【九州】
大阪市消防局

水中結索（連携訓練）



東京消防庁	埼玉西部消防局	【関東】	仙台市消防局	青森地域広域事務組合消防本部	【東北】
田口 小高 川島 板井 田島	後藤 加藤 熊谷 鈴木 齋藤	恭平 勤基 大軌 優太 優弥 郁也 哲哉 宗志 鍊	野上	【標準所要時間1分46秒】	
					3人1組で水中の結索環に、第1泳者は「もやい結び」、第2泳者は「巻き結び」、第3泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された3種類のロープ結索を行なう。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。



水中検索救助（連携訓練）

東京消防庁	京都市消防局	【東海】	名古屋市消防局	川崎市消防局	東京消防庁
堀 岸岡 片岡 矢野誠一郎	江角 米田 松本 寺田 橋本 吉田	宇城広域連合消防本部	松江市消防本部	山川 永宮 鳥羽 浅井 野中 深野 北島 松田	楠本 谷口 谷口 二葉慎太郎 谷口 谷口 二葉慎太郎 谷口 二葉慎太郎
聰佑 海利 竜哉 昌樹 海 賢司 東幸 良輔	賢司 東幸 良輔 真央 瞭 宣人 徹			眞央 瞭 宣人 徹	眞央 瞭 宣人 徹



【東海】

大阪市消防局	京都市消防局	【近畿】	大垣消防組合消防本部	【東海】	川崎市消防局	東京消防庁	【関東】
難波 高瀬 森下 鈴木 陣野 岡村 吉田 岡村	寺田 小栗 長屋 高木 紳之介 高木 紳之介	寺田 康平 吉輝	若生 深野 上野 松田 老久保亮太	浅井 佐々木 啓嵩 木村 大下 和馬	矢澤 佐々木 啓嵩 木村 老久保亮太	二葉慎太郎 上野 貴志	木村 駿人 佐々木 啓嵩 木村 駿人 佐々木 啓嵩
拓人 涉 翔太 遼隆 將司 良輔 圭悟	彪人 康平 吉輝	昌弘 宣人 裕輔	裕輔 隼人 裕輔	蓮 駿人 裕輔	蓮 駿人 裕輔	蓮 駿人 裕輔	蓮 駿人 裕輔



大会ダイジェスト①

【標準所要時間1分42秒】

高知市消防局	岡山市消防局	【中国】	吉田 定本 甲田 聖矢 家ノ上 貢広

4人1組で第1泳者が水面を、第2泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者（訓練人形）を発見して水面へ引き揚げた後、第3泳者と第4泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助するもの。

技術訓練

定められた救助方法や資器材に縛られることなく、創意工夫のもとで、より安全で確実・迅速な訓練を発表するもの。

陸上の部

【東海】

常滑市消防本部

齊藤 真伸
竹内 省吾
大久保 幸洋
野崎 泰徳
滝川 恭平

（訓練概要）

変化する社会情勢に対応すべく、各種法令等を含め根拠に基づいた安全基本活動の再徹底を目的として、改めて基本に立ち返り、安全確認手技など教育段階での平進化を図る「スマール・スケール・ベース・トレーニング（SBT）」を考案。

今回実施した訓練は、災害想定訓練ではなく「降りる・登る・降ろす・引き揚げる」を現場活動の基本として設定。使用資器材数を抑え、小規模消防本部でも実施可能な訓練内容をスタートとし、様々な環境・規模・練度に応じて設定変更できる「訓練ベース」として提案するもの。



（訓練想定）

港の船着き場から1台の車両が海に転落、事故を目撃した付近住民から救助要請があつたもの。

車両が転落した現場付近は、港特有の形状となつており、岸壁付近を検索する際は、特に注意が必要となる。

（訓練のポイント）

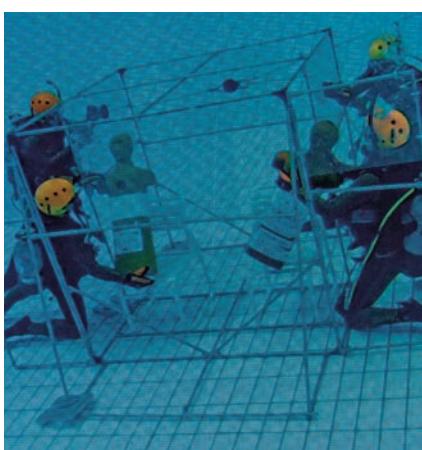
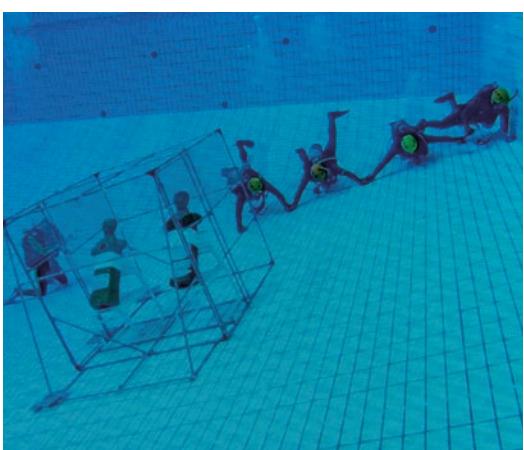
水難救助活動は、季節、天候、潮の満ち引きなどの影響を大きく受け、常に特殊な環境下での活動を強いられる。そのような中、今回の技術訓練では、岸壁検索及び車両検索をテーマに掲げており、水難救助活動における安全性和確実性の向上と、現場の形状や沈没車両の車種に左右されない再現性の高い活動要領の構築を目標に、特殊な機械、器具に頼ることのない災害現場に即した検索活動の検証、検討を行つている。

水上の部

【九州】

熊本市消防局

浜崎 野茂 太志
米村 西野 正寿
山本 幸太郎 大介
田邊 望 真豊



全国消防救助技術大会

～市民インタビュー～

及川さん・岡本さん・職場のみなさん
選手として参加しました。

また、職場のサポートメンバーも一緒に会場に来てくれました。
とても立派な会場（プール）で感動しました。

待ち時間が少なくなるよう工夫して下さっており、選手ファーストな大会だなと感じました。とても楽しかったです。
3年間訓練を実施し、初めて全国大会に出場することができました。とても嬉しいです。

悔いの残る結果にはなったけど、チームで重ねた日々の努力は絶対無駄ではない！本当に最後までかつこよかったです。
誇りです！

毎日訓練を頑張る姿を見てきたので、悔いなく頑張ってほしいと思っていました。
本番もチーム一丸となって頑張っていましたので、とてもかつこよかったです。
暑い中お疲れさまでした。

みなさんの頑張りに感動しました。



矢橋さんご家族
夫（パパ）が出席するので、応援に来ました。



菅澤さんご家族
夫の応援のために来ました。



かっこよかったです。普段の訓練の賜物だなと思いました。
お疲れ様です。いつも市民の安全のため働いてください、ありがとうございました。

秋山さんご家族
夫の応援のために家族で応援に来ました。
夫の初めての全国大会出場を、家族で見ることができてとても楽しかったです。

家でも毎日練習していたのを見ていたので、最後の種目では悔しい気持ちもありますが、とてもかつこよかったです。

成瀬さんご家族

- 息子の応援のため、家族で来ました。
- 全国大会の雰囲気を感じました。
- 素晴らしい大会ですね。
- 日頃の練習の成果が出て、素晴らしい競技だったと思います。
- さらなる成長を願います。



- これからも、怪我無く身体に気を付けて頑張ってほしいです。お疲れさまでした!!

川島さんご家族

- 夫の応援のため、家族で来ました。
- 全国から集まつてすごい大きい大会だと思いました。
- ここに来るまで長い戦いでした。
- この日まで長い間お疲れさまでした。
- 全力でかつこよかったです。



オープニングイベント

開会式の後、陸上会場において、オープニングイベントとして、千葉ロッテマリーンズのチアパフォーマーの「M☆Splash!!」によるパフォーマンスが披露され、会場を一体感で包み込み大いに盛り上りました。



会場風景 & 大会ダイジェスト②



一般財団法人全国消防協会
Firefighters' Association of Japan

—安心への選択—
消防職員とその家族を守る団体保険です！

全国消防グループ保険（生命保険）

消防職員賠償責任保険（損害保険）

消防職員傷害保険・消防職員医療保険・弁護のちから（損害保険）

一般財団法人全国消防協会の消防団体保険は、全国16万人の消防職員の助け合いの制度です。
消防職員とそのご家族の皆様の福利厚生に是非ご利用ください！

お問い合わせは 0120-119-147 (生命保険) 0120-065-988 (損害保険)

消防団体保険の収益は、全国消防救助技術大会の開催をはじめ、全国の消防職員のための事業の実施に活用されています。

大会ダイジェスト③



令和6年10月25日発行

本誌に記載している役職等は全て
令和6年10月25日時点のものです。

編集 発行 一般財団法人 全国消防協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16
日本消防会館 12階 電話 03(4500)6622(代表)